

令和6年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

本年4月に3年生を対象に実施いたしましたこの調査について、本校の結果をお知らせします。この調査結果を受け、分析と考察を行い、学習指導や授業改善に取り組んでおります。ご家庭でもお子様の指導等の参考にしていただければと思います。

1. 学力検査正答率の結果から（全国平均との比較）

- 国語：全国平均と比較して、やや上回っている。
- 数学：全国平均と比較して、同様である。

2. 各教科の成果と課題のあった問題（代表的なものを1問ずつ）

(1) 成果（正答率が全国平均と同等もしくは上回ったもの）

- ① 国語：目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題。大問3ー
- ② 数学：グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題。大問8（1）※以下参照

(2) 課題（正答率が全国平均と比較し、下回っているもの）

- ① 国語：意見と根拠など情報を情報との関係について理解しているかどうかをみる問題。大問1ー三
- ② 数学：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題。大問8（2）※以下参照

8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 Lの灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

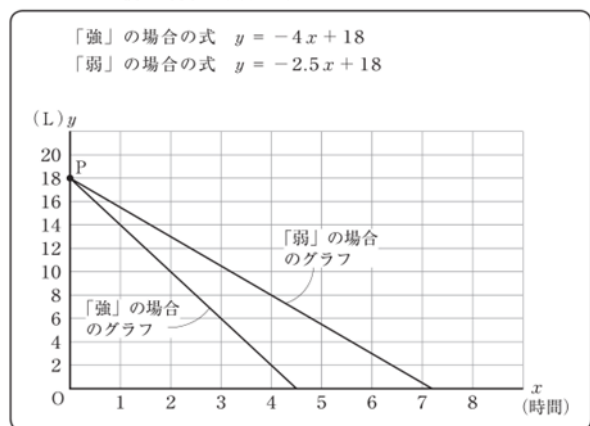
説明書の情報

ストーブの設定	強	弱
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

結衣さんは、ストーブを6時間使用して、18 Lの灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることにしました。そのために、18 Lの灯油が入ったストーブの「強」の場合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を調べることにしました。

そこで、結衣さんは、説明書の情報の1時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてから x 時間経過したときの灯油の残量を y Lとして、「強」の場合と「弱」の場合の x と y の関係をそれぞれ $y = 18 - 4x$ 、 $y = 18 - 2.5x$ と表しました。そして、この2つの式をそれぞれ $y = -4x + 18$ 、 $y = -2.5x + 18$ と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。

ストーブの使用時間と灯油の残量



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) ストーブの使用時間と灯油の残量の「強」の場合と「弱」の場合のグラフは、どちらも点Pで y 軸と交わっています。点Pの y 座標の値は、何を表していますか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア ストーブを使用し始めるときの灯油の残量
- イ ストーブを使用し始めるときの時間
- ウ 「強」の場合のストーブの1時間あたりの灯油使用量
- エ 「弱」の場合のストーブの1時間あたりの灯油使用量

(2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18 Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それをういて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

- ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$
- イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

成果のあった問題

課題のあった問題

(3) 全体を通じて

- ① 成果：基礎的・基本的な知識・技能は有していると言える。また、表現力の向上がみられる。
- ② 課題：複数の情報を結び付けて、その関係を踏まえて表現することに課題がある。

3. 学校としての改善策

- ・ 学習の見通しとふり返りのある学習過程の中で、生徒の学習意欲と学力の向上を図ります。
- ・ 話し合い活動（ファシリテーション）を全教科で取り入れ、表現力を高めます。
- ・ まとめや発表の場面では「なぜそう考えたのか」など根拠を示して発表できるようにします。
- ・ 一人一台端末など、ICT等の活用により、学びあいを活性化させ、学習事項の定着向上を目指して授業改善を行います。
- ・ 望ましい生活・学習習慣の確立を目的に「フォーサイト手帳」を活用して指導します。
- ・ 放課後を活用した補充学習や宿題、自学課題提示、1人1台端末等を活用した課題などを通じて、個別に最適化された家庭学習を推進します。
- ・ 進路指導とキャリア教育を推進し、生徒が自らの将来について考え、将来の夢や目標を持てるようにします。
- ・ 夢や目標の実現のために、自分の生活上の課題を改善し、主体的に学びに向かおうとする気持ちを高める取組を一層進めていきます。

4. 生徒質問紙による学習状況に関する調査

(1) 全国の回答と比較し、良い傾向の項目（全国比+10%以上の項目で代表的なもの）

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。
- 自分にはよいところがあると思いますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 将来の夢や目標を持っていますか。
- 人が困っているときは、進んで助けますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- 1, 2年生のとき受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- 1, 2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3) 楽しみながら学習を進めることができる。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

(2) 全国の回答と比較し、改善が必要と思われる項目

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） 4時間以上
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 4時間以上

5. ご家庭へのご協力をお願い

① えべつスマート4ルールを参考に、家庭で「メディア利用時間」のルール見直しを

生徒質問紙の結果から、平日のゲーム時間が2時間未満の生徒が6割（全国5割）スマートフォンでSNSや動画視聴をする時間が2時間未満の生徒が5割強（全国4割強）となっています。また平日の勉強時間1時間以上の生徒が7割強（全国6割強）となっており、家に帰ってからの時間の使い方が、心身の健康の面からも憂慮されます。さらに、保護者アンケートとは逆に、生徒の多くは携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について「家庭でのルールを守っている」と考えています。お子さんが家庭でどのような時間の使い方を行っているか「メディア利用時間」のルール見直しを通じて、適切なものになるようにしてください。

② 子どもたちが自分自身の意見を語る経験を

地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う生徒は5割弱（全国2割強）います。また、人の役に立つ人間になりたいと考える生徒が8割強（全国7割弱）います。将来の夢や目標を持つ生徒が5割強（全国3割強）いることから、自分のこれからの生き方を自分の力でしっかりと考え、語る経験を各家庭でも積み重ねてください。